

Vol.38

JUN.2008

Summer

Lamp Lighter



第6回ダッチオープンパーティーを開催しました！

前日まで雨が心配されていましたが、気持ちの良い気候の中、無事に開催することができました。今年も伊那の生パスタのお店「kurabe」のシェフ、渡邊竜郎さんを講師に迎え、信濃ますとシジミのアクアパッツアや魚介の炊き込みご飯などを皆で作って食べて、大成功でした！

蓼科店2Fミニギャラリー展示会情報

波江野 功さん・洋子さん 『シルバーアクセサリーとパッチワーク展』

期間：8月4日(月)～9日(土)

繊細なアクセサリーと見事なパッチワークは、見ものです。

草間 信子さん 『かすりと正藍染めの手織小物展』

期間：8月10日(日)～15日(金)

小物から洋服まで幅広いアイテムの展示即売会です。

第3回チャリティ・フリーマーケット sponsored by 蓼科ヨーガ実行委員おばあの会

日時：7月6日(日)10時～15時

場所：ストーブハウス蓼科店ワークルーム

アフリカの貧困に悩む子供たちの教育支援活動をしている団体「ジンバブエ友の会」に協力するためのチャリティー・フリーマーケットです。お問い合わせ先：0266-76-3144(山中順子)

第13回陶芸OSADA HODO教室 作品展&即売会

日時：6月21日(土)・22日(日)

場所：茅野市民館イベントスペース

蓼科店中島(旧姓：伊東)が所属する陶芸教室の作品展。今年のテーマは「花器」。是非のぞいてみて下さい！

薪ストーブ 実用事典

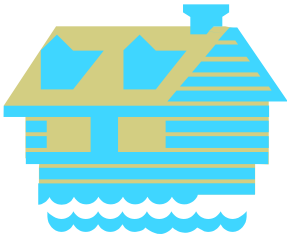
キーワード:結露



文: 工事スタッフ 中野

前回に引き続き、今回はさらに面白い結露の事例を紹介します。これは薪ストーブシーズン直前のある日、煙突掃除に行った時の話です。

そのお客様は薪ストーブを約10年使用し、今回が初めての煙突掃除とのことでした。かなりの大量の煤の量を予想していたのですが、実際の煙突内は意外なことにサラサラとした良好な煤がうっすら付いている程度でした。ブラシを通すべきか判断に迷うところですが、今後も安心して薪ストーブを使い続けたいとの意向もあり通常通り煙突掃除を行いました。それから半月ぐらい経った頃でしょうか…そのお客様から、「今日、山荘に来たらストーブの周りが水浸しになっている！雨漏りかもしれないから早く様子を見に来てくれ。」という連絡があり、すぐさま急行して状況を目の当たりにしてビックリ。まさに薪ストーブの周りが水溜まりになっているのです。もちろん雨漏りを疑って各部をくまなくチェックしましたが全く異常は見られません。



そうなる原因は？結露？こんな大量に？これまで色々な薪ストーブを扱っていてこんな経験は初めてでした。分かることとしては、今回煙突掃除をした後に異状が発生したということです。どうやら煙突掃除を行ったことが何かしらの結露の原因を作ったと思われ、次のような可能性が最も考えられると判断しました。『煙突掃除をすればもちろんトップと煙突内はきれいになります。そして十分な上昇気流も発生します。その状態で何らかの条件と重なったことで温度差が生じて結露が発生したのではないか…』そして『煙突掃除をしてきれいになった煙突内は、結露が発生しやすい条件が重なると頻繁に結露が発生していて、煙突内だから、ただ気付かないだけではないか…』ということです。実際にトップの裏側からは水滴が伝った形跡がはっきり見られました。そして季節的にも日中の秋の日差しを受けて室内は暖められ、煙突内は上昇気流が発生し続けるはずですが、しかし、日が暮れて急に冷え込むと煙突内の室内から引き込んだ暖かい空気はトップ付近で急激に冷やされて水滴となって垂れ落ちます。まさにこれがあの大量の水溜まりの原因だったのです。ではこの場合の結露が発生しやすい条件とは？

まずは昼夜の温度差の激しい秋頃は注意が必要です。そして次に煙突掃除をしないこと！！

…いやいやそうはいきませんね(笑)

それよりも人間はどうしても自然現象には敵わないという認識を持つことのほうが重要かもしれません。



WE
STOVE

Written By :

会田 二郎 さん



窓からは八ヶ岳が一望できて、お家もお庭もすごくステキな会田さんのお宅。秋には家族も1人増えて、にぎやかになりそうですね。

薪ストーブを購入する際、試してみることは当然出来ないもので、様々なメーカーから機種、燃焼方式、外観デザインに至るまで、約半年間悩みに悩んだ。最終的には構造がシンプルで、柔らかな曲線美を持った彫刻的な味わいのJOTUL F600を選択した。大きさについては最後までF500と悩んだが、主暖房として使う考えて燃焼室の広さ(主に高さがある)によって薪の量 = 暖房面積と考えると、大きいモノを選択した。そんな時から、早いモノで2シーズンが過ぎ、今は3シーズン目の薪割り中、充分悩んだこのストーブをさらにとことん探求したく色々やってきている。効率良く燃焼させるにはどうすればいいか、試行錯誤を繰り返した。焚きつけ時は、一次燃焼の空気吹き出し口から奥の方向へと、たまった灰にT字の溝を作り空気の流れを調整した。これで炉内の隅から隅まで一気に火が回り、継ぎ足し時にはT字の溝にたまった熾きが、フレッシュエアーによって息を吹き返し、新しい薪に勢いよく燃え移る。オーロラ燃焼をより長く楽しむためには、本体が200以上で新しい太い薪は奥に入れ、手前に熾きを持って来る。すると不完全燃焼のガスは奥にある二次燃焼用のチューブ付近からメラメラと美しい炎が幻のように現れる。ストーブを使った調理も煮物から、焼きリンゴ、ジャガイモ焼き、ピザ焼きなど幾度の失敗から最適温度とタイミングなど計りながら楽しんでいる。暖房効率を決める薪に関してはまだまだ研究の余地を残している。雨に当たってしまったものは一度家の中で乾燥させ、乾燥しきっていない薪はさらに割って燃やす時期をズラして使うなど工夫ぐらいはしているが、樹種や乾燥方法、含水量など調べたいことが山ほどある。薪ストーブを使い始めてより実感したが、薪小屋作り、チェーンソーワーク、メンテナンス、薪を確保するための地元民との交流など、一年を通してストーブ生活をしている。暖をとるためのシンプルな道具だが、何かと手間暇かかる薪ストーブ、ますます愛着が湧き、そんな生活を楽しんでいる。

今、旬なオススメ雑貨

ZAKKA SCOOP



オレンジキッチンウォッシュ (濃縮タイプ)500ml ¥945
 「次世代にカエルが生息できる環境を残す」という信念とともに作り出された、人だけでなく地球にもやさしい食器用洗剤が入荷しました。



マリンマット 80×85cm カラー:BL・GR 各¥3,675
 山や海といったアウトドアシーンで活躍するマット。裏がビニールコーティングされていて、持ち手もついていません。クルクルまいて持ち運べます。



CROCS otter kids(オッターキッズ) サイズ:14cm・15.5cm 各¥3,990
 今年も大注目の“クロックス”からの新作です。クロックスの履き心地はそのままに、小さなお子様でも脱ぎ履きしやすいベルクロタイプですよ。



サングラス 各¥1,050
 ファッションに合わせて何本も持っていたいサングラスは、日差しが強い季節の必需品。お求め安い価格でありながら、デザインが豊富ですし、紫外線はきっちりカットしてくれますよ。お好きなデザインをお選び下さい。



ドットグラスキャニスター 各¥840
 雑貨好きにはたまらない夏らしい爽やかなドット柄のキャニスターです。実用性、デザイン共に。コーヒー豆や茶葉、お漬物の保存にも良いですね。色は、ホワイトドットとブルードットがあります。



アロマ蚊取り線香(8巻入り) ¥525
 天然防虫菊を主成分とした蚊取り線香が新登場。グレープフルーツとグリーンアップルの2種類の香りが楽しめます。やさしい香りですので、ご家族皆さんで愛用できます。2つの香りが4巻ずつ入っています。

**野田琺瑯 ホワイトシリーズ
 ホウロウ保存容器 ¥840~**



ロングセラー商品である保存容器のご紹介です。70年以上琺瑯づくり一筋に歩んできた野田琺瑯の製品は、『道具は人の手助けになり、心がやすらぎ、安心して使えるものでなければならない。』という考えのもと、ひとつひとつ丁寧に手づくりされています。プラスチック容器のように使っているうちに環境ホルモンが溶け出すことがなく、またステンレスのように鉄の匂いがつくこともありません。細菌や匂いもつきにくく、油物でも一度洗いですっきり落ちるので、お弁当箱として使っている方も多です。もちろん、ホーロー鍋と同じ構造のため、そのまま直火にかけられますし、冷凍、冷蔵もOKです。食品、食材の保存にピッタリですよ。

ITEM RESEARCH





〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間71-42
TEL / FAX 0551-32-6901
URL: <http://www.cabin2008.com>

十数年に渡り、ストーブハウスの看板娘として活躍してきた吉田真沙子さんの店『CABIN』がオープンしました！
念願だったご自分のお店をスタートさせて二ヶ月が経ち、やっとリズムが出てきたと話す吉田さん。お客様にゆったりとした時間を過ごして欲しいという思いで併設したカフェも、おいしいコーヒーと手作りケーキ、窓から広がる南アルプスの素晴らしいロケーションやバードウォッチングが楽しめるのがすっかり評判となり、お茶を楽しみに来店される方も多いようです。

そして、お店に集められた雑貨や洋服はどれも、吉田さんが永年培ってきた“物を見る目”で選び抜かれた物ばかり。沢山の雑貨を目にする私達でさえも新鮮さがあり、その発掘力とアンテナの感度の良さには相変わらず感心させられます。

とにかく、百聞は一見に如かずです。まずは、『CABIN』へ足を運んでみて下さい。



Owner's Column

～KENのひとりごと～

“オールドフレンズ ”

二人は車に乗り込み濱田窯へと向かいました。工房は駅から15分程でしたが、30年の時を埋めるには短く、あっという間に工房に到着。工房は里山を背に、住まい、工房、窯小屋と静かな佇まいを見せ、しっかりとこの地に根付き、確かな歴史を歩んで来た様子がうかがえました。車を降りると陽子さん（奥様）が、昔と変わらぬ笑顔で迎えてくれました。確か年は私と同じ位のはず。その若々しい容姿に30年の時が充実していたと推測することができました。昼前から昔話を肴に、おいしい酒を酌み交し、この無口な私でも話の途切れることもなく、お互い子供は2人で、同じように2人とも遠く家を離れて、学校に行ったり、仕事をしているとのこと。子供達もまた、外の世界に思いを馳せて飛び出して行った若き日の私たちのように、どこかで、だれかと、新しい出会いをして、時空を超えて再会し、楽しいひと時を持つ事が出来たならば、それはめぐる因果か、宇宙の輪廻なのか...などと酔いが回った頭で考えつつ、また盃を重ねる頃に外はすっかり薄暗くなっていました。なごりを惜しみつつ席を立ち、再会の約して夕暮の里山とそこに立たずむ二人を後に帰途についたのでした。

...というわけで、その日のスタッフ一同との宴会には遅刻してしまいました。すいませんでした。



季刊誌“Lamp Lighter”のバックナンバーは、ホームページ (<http://www.stove-house.co.jp>) にてカラーでお楽しみいただけます。

*** OPEN/10:30～18:00 CLOSE/火曜日 ***



耳より情報



“ハケ岳グリーンフェスティバル”

～ 緑と花と暮らす日々～

6月28日(土)・29日(日)に原村の自然文化園を中心に『グリーンフェスティバル』と称して、講演会や苗の直売など色々なイベントが開催されます。ストーブハウスでも前売り券発売中です。





詳しくは <http://www.lcv.ne.jp/harakk/>

STAFF ROOM

～スタッフのコメント集～



テーマは“マイブーム”です。

- T.S: 旬の食材を使った蒸し料理、そしてサービングポットが大活躍！
ヒマラヤの岩塩をかけるとたまりません。 
- K.Y: キノコ菌打ち。 
- K.N: 仕事!
- S.U: おしり。
- R.Y: 煙突掃除後に鼻をかむこと...黒い!!
- K.H: 建築探訪。特にバブル建築を見るのが好きです。
- A.K: ニンテンドウDS。なんだかハマっちゃってます。
- E.M: 畑。今年は白ナスと子かぶに挑戦します。
- Y.N: ことあるごとに「天才!」と言って、ダンナさんを誉めちぎる。
だって新婚だから...。(旧姓:!) 
- S.M: キリン。
- K.T: 2歳になった甥っ子 可愛すぎてやばいです。
- S.I: 中古の一眼レフカメラを買ったので、毎日のくだらないものを撮っています。 
- Y.H: 紙素材を使ったカゴ作りに、ハマっています!
- Y.U: 毎朝、超テンションの低いスタッフをどう盛り上げていくか...マイブームというより、私の日課かな。



STOVE HOUSE

WOODSTOVE WORKS
&
COUNTRY STORE

<http://www.stove-house.co.jp>

Tel:0266-79-6378

長野県諏訪郡

原村5252-1